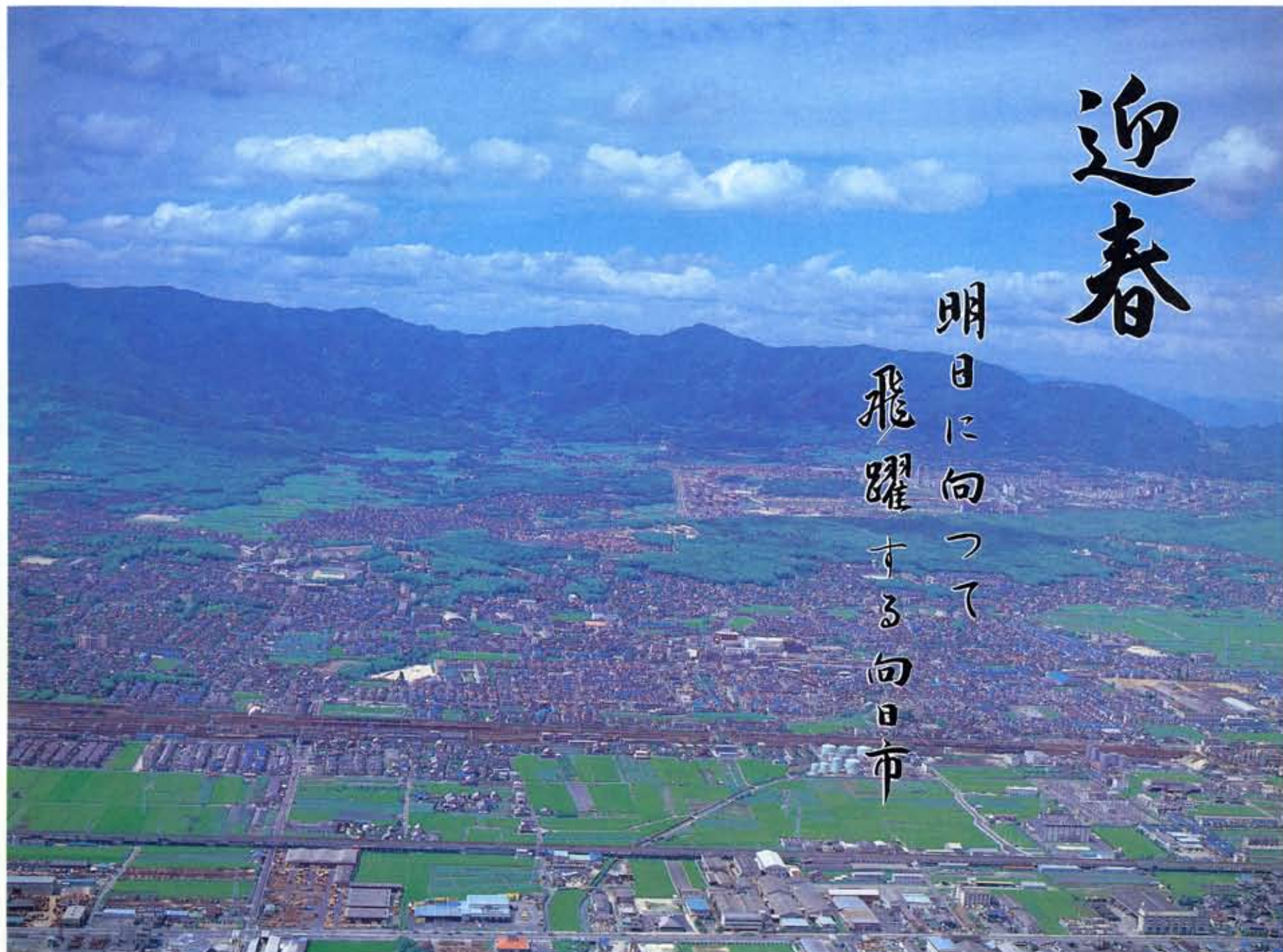


向日市報

まちのうごき

(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 16,167世帯	生れた人 66人	
人口 51,140人	亡くなった人 18人	
男 25,279人	転入した人 280人	
女 25,861人	転出した人 260人	



迎春

明日に向つて
飛躍する向日市

人間性豊かな定住型都市をめざして



市民のみなさん、あけましておめでとございます。
一九八二年の新春を、ご家族おそろいで健やかに迎えになったこととお喜び申し上げます。

私は、みなさま方の暖かいご支援のもとに、清潔で明るい市民本位の市政を基本に、情熱と勇断をもって私たちのまちをよりよくしたいと願っています。

い、公約の実現に向けて最大の努力をいたしました。
願ひますと、昨年は、社会・経済情勢ともにきびしく、とりわけ、国の行政改革をめざしての制度の見直しなどにより、地方自治体や国民への負担のしわ寄せが危惧されているのであります。しかも、本市においても、財政健全化のため終始きびしい財政運営にたたされました。

このような中で、私は、市民のすべてが安心して暮らせる福祉と教育文化の充実した都市建設をめざし、国際障害者年に当っての啓発事業をはじめ、コミュニティづくりの場としての公民館整備、生命・財産を守る消防庁舎の建設、水の確保をはかるための新浄水場の建設に着手するなど、まちづくり諸事業を推進することができましたことは大きな喜びであり、みなさん方のご協力を厚くお礼申し上げます。

ところで、本年は、私たちの向日市の市制施行十周年を迎えます。本市は、昭和四十七年十月一日に、都市化促進を願ひ、都市的施設の整備をはかるため、市に移行したのであります。いま、市制十周年を迎えるにあたり、この意義ある年を一つの節目として、人間性豊かな定住型都市をめざし、一層の努力をしてみたいと決意しております。

そのためにも、二十一世紀に向けて、明るい展望が開けるまちとするため、都市基盤の整備には、市民のみなさんのご理解のもと、勇気をもって、都市計画街路の整備や阪急向日駅周辺地区の整備計画の推進、上・下水道事業の促進に力を注ぎたく存じております。

また、市民の健康を守る保健センターの建設や、体育活動と憩いの場として市民が利用できる市民体育館を含めたスポーツ運動公園の整備、さらには西ノ丘陵地帯の緑の保全をはかり、その景観を生かして、文化・観光・レクリエーションの核として整備するなど、まちづくりには欠かせない施設整備に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

市民のみなさんに、「向日市に住んでよかった」「長生きしてよかった」と喜んでもらえるように、新しいふるさとづくりの心ふれあいを求めて頑張りたく存じますので、ご協力をお願いいたします。

年の始めにあたり、市民のみなさんのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

向日市長 民部 徳夫